

岡山県

岡山県退職校長会

結成 昭和40年5月1日

岡山県では、小・中・高校の各退職校長会が会員相互の親交と福祉の増進を図ると共に、それぞれの現職校長会と提携して教育の振興に寄与することを目的として独自に活動している。そのうえで、岡山県退職校長会は、小・中・高の三退職校長会相互の連絡と共通の課題の達成を目的として組織され、全連退に加盟し、会長には三退職校長会の会長が輪番で当たっている。

岡山県退職校長会の主な活動として「岡山県教育問題懇談会」がある。昭和44年5月25日、有志によって、県下の教育の正常な振興を支援することを目的として、「県下の教育界の現状を語る」と題して、第1回の懇談会を開催した。以後毎年開催され、現職の校長会と手を携えて、その時々々の教育問題について協議し、教育世論の喚起や教育の充実に努めてきた。

結成された頃の議題には「教育の正常化を図るために」「県教組・高教組の意見を聞く」「主任制設置について」等であったが、最近の議題は「学力向上と生徒指導上の課題」「教職員の人事管理上の課題」「高校入試」等教育現場が抱える課題が中心である。また、当初は、その課題に関係した方を講師にお迎えして懇談をすることもあったが、第19回以降は、現職校長会から小・中学校長会長・高等学校長協会会長ほか、役員の代表と小・中・高の退職校長会代表20名程度で、2時間ほどの懇談をしてきた。第33回からは、岡山県教育庁から関係の課の課長にも出席してもらい、国や県の教育について行政の立場からお話をいただいている。

本年度第47回懇談会では、教育庁の教職員課、高校教育課、義務教育課から参事が参加され岡山県の施策や取組について講話をいただいた。ご出席の小・中の現職校長会長、高等学校長協会会長のうち、小学校長会長からは「経営力を高め信頼を育む校長会」「岡山県小学校教育の現状と課題」等、中学校長会長からは「学力向上及び生徒指導上の課題解決に向けて」「教職員の育成・評価システム及び人事評価制度の円滑な実施」等、高等学校長協会会長からは「高等学校教育の質の確保・向上」「高等教育体制の整備」等中身の濃い問題の提起があった。32名の参加者が2時間を有意義に過ごした。

今後有志で始まった発足時の精神を忘れず、教育問題懇談会をより充実した会に発展させ、現職の校長会と手を携えて岡山県教育の振興に寄与していきたい。

